allcinema

嘆きのテレーズ（1952）

THERESE RAQUIN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 107分
初公開日 1954/04/20
公開情報 新外映

【解説】

ゾラの『テレーズ・ラカン』を現代に焼き直したＣ・スパークの脚本を、Ｍ・カルネが映画化。病弱な夫をよそに逞しい運転手と恋に落ち、夫の殺害を企てる女の冷酷さをシニョレが完璧に演じた。ヴァローネの愛人も適役。完全犯罪にするため仕掛けたトリックが、自分で自分の首を絞める結果となる。このラスト近くのサスペンスの、淡々とした畳みかけは迫力満点。フランス映画のエスプリ……という所か。

【クレジット】

監督	マルセル・カルネ	Marcel Carne
原作	エミール・ゾラ	Emile Zola
脚本	マルセル・カルネ	Marcel Carne
	シャルル・スパーク	Charles Spaak
撮影	ロジェ・ユベール	Roger Hubert
音楽	モーリス・ティリエ	Maurice Thiriet
出演	シモーヌ・シニョレ	Simone Signoret
	ラフ・ヴァローネ	Raf Vallone
	ローラン・ルザッフル	Roland Lesaffre
	ジャック・デュビー	Jacques Duby
	シルヴィー	Sylvie

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.